



2020年7月31日

東日本旅客鉄道株式会社

## 日本ボッチャ協会とゴールドパートナー契約を締結 ボッチャ日本代表を応援します！

東日本旅客鉄道株式会社(代表取締役社長：深澤祐二、以下「JR東日本」)はESG経営を実践し、事業を通じて社会的な課題の解決やSDGs※1の達成に取り組んでいます。

JR東日本は、2020年8月1日から一般社団法人日本ボッチャ協会(代表理事・奥田 邦晴、以下「日本ボッチャ協会」)のゴールドパートナーとなります。JR東日本施設内に、東京2020パラリンピック競技大会で使用するボッチャコート2面を配備し、ボッチャ日本代表に対して合宿での練習環境を提供します。これは日本企業として初めての取り組みです

障がいの有無や年齢等にかかわらず楽しむことが可能なボッチャを通じ、共生社会の実現と地域社会への貢献に努めてまいります。

※1 SDGs：国連サミットで採択された2016年から2030年までの国際目標のことで、持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成されています。

### 1. 協賛カテゴリー ゴールドパートナー

### 2. 契約期間 2020年8月1日～2021年9月30日

### 3. サポート内容

- (1) JR東日本施設(福島県白河市・JR東日本総合研修センター内)に、東京2020パラリンピック競技大会で使用するボッチャコート(2面)の配備およびボッチャ日本代表に対する合宿での練習環境の提供

※ボッチャ日本代表合宿での当面の使用日程(合宿)については、次の通りです。

①2020年8月14日～8月16日

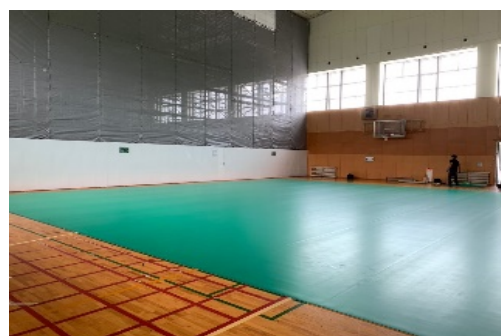
②2020年9月21日～9月22日

(いずれの日程も見学等はできません。)

- (2) 同施設内で行われるボッチャ日本代表合宿にあわせて必要なサポートを行うほか、日本ボッチャ協会が実施する地域貢献事業等との連携の検討

### 4. ボッチャについて

ボッチャは、ヨーロッパで生まれた重度脳性麻痺者もしくは同程度の四肢重度機能障害者のために考案されたスポーツであり、東京2020パラリンピックの正式な競技です。ジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに、赤・青それぞれ6球ずつのボールを投げる等により、いかに近づけるかを競います。



JR 東日本は、東京 2020 パラリンピックオフィシャルパートナー（旅客鉄道輸送サービス）として、また東日本地域を事業エリアとする企業として、円滑な東京 2020 パラリンピックの運営を支え、大会開催に向けた気運を高める様々な取組みをより一層加速させます。そして、この取組みが 2020 年以降も地域社会に持続的な効果をもたらす「レガシー」となるよう努めてまいります。

